

2016年3月期第3四半期決算説明会 主な質疑応答(要旨)

■国際線について

Q：燃油サーチャージの影響を除いた国際線の純単価が上昇している要因は？

A：為替の円安が進んだこと、および、多くのお客さまに JAL SKY SUITE をご利用いただいたためです。

■国内線について

Q：第3四半期単独で国内線の単価が下落した要因は？

A：当第3四半期は休日の日並びが悪かったことに加え、ダイナミックパッケージをはじめとする団体旅客運賃が大変好調であったためです。

■営業利益について

Q：営業利益が、計画よりも約25億円上振れた要因は？

A：国内線が好調、かつ燃油費が減少したことが大きな要因であり、経費削減の目標も達成いたしました。

■コストについて

Q：燃油市況の下落に伴う収支へのインパクトは？

A：燃油サーチャージ収入の減少はあるものの、燃油費も減少するため、必ず一致するとは限らないものの収支に大きな影響はございません

■その他

Q：パリやジャカルタにおけるテロの影響は？

A：ロードファクターの減少が11月より継続していたため、パリは1月より減便いたしました。ビジネス需要・観光需要ともに回復は来期半ばにかけてと考えております。なお、インドネシアに関しましては、ビジネス需要が中心のため、テロの影響は限定的です。

以上